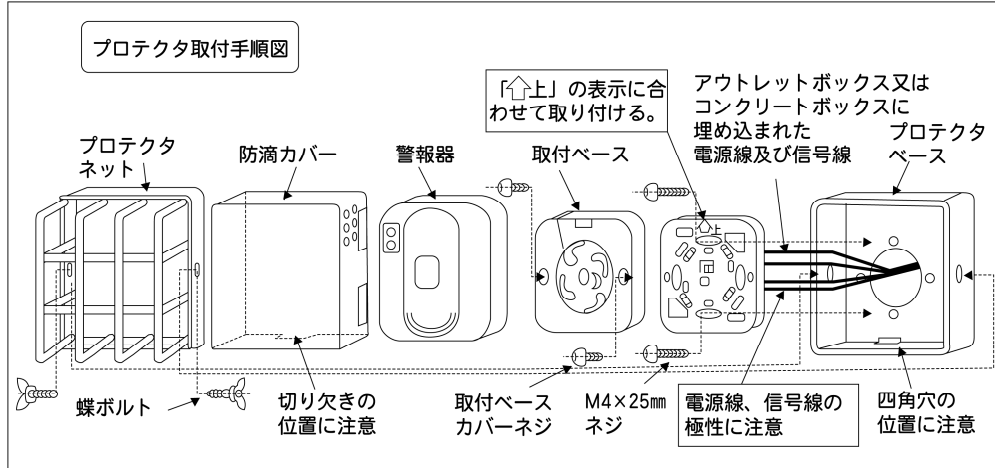




DC24Vガス警報器専用

## プロテクタ取付手順書

形式：KM-35P(プロテクタ) 形式：KM-35PW(防滴カバー付きプロテクタ)



### 【既設の警報器に防滴プロテクタを取り付ける場合】

- (1) 警報器の電源を切ってから警報器を取り外し、取付ベースのカバーネジをゆるめてカバーを取り外します。
- (2) 取付ベースの配線を外し、取付ベースを取り外します。この時、配線の電線色で電源、信号線の極性を覚えておいて下さい。(元通りに配線できるように)
- (3) プロテクタベースと取付ベースを先にとりつけます。配線をプロテクタベースの丸孔に通し、取付ベースの端子に元のように配線します。
- (4) M4×25mm相当のネジで、プロテクタベースと取付ベースを配線ボックスのネジ穴に共締めして固定します。
- (5) 取付ベースに取付ベースカバーを装着し、警報器を取り付けてください。
- (6) ここで警報器の電源を入れ、正常に動作することを確認してください。  
(電源ランプ緑点灯、受信機側の受信状態等)
- (7) 防滴カバーご使用の場合は、ここで防滴カバーをプロテクタベースに嵌め込みます。
- (8) 最後にプロテクタネットを蝶ボルトで2箇所固定します。

### 【新設の場合】

上記の(3)から(8)の手順で取り付けて下さい。

### 《適用ガス警報器の形式》

- ・LPガス用：KP-35B
- ・都市ガス用：KN-35B(空気より軽いガス用)、KN-36B(空気より重いガス用)

### ＜警報性能について＞

防滴カバー付きプロテクタは、飛散する水滴から警報器本体をガードするために使用するものです。そのため下記項目については性能を保証できなくなり、ガスがなくなった時には警報が鳴り止みにくくなります。

ご使用の際は使用目的を十分ご検討の上、選定くださるようお願いいたします。

《防滴プロテクタKM-35PWの装着有無による性能比較》

項目	警報器本体の性能	防滴プロテクタKM-35PWご使用の場合
検知遅れ	20秒以内	90秒以内
警報音量	70dB以上	65dB以上

### ●防滴カバー付きプロテクタ(KM-35PW)の推奨ご使用例

- ・業務用厨房でLPガスまたは空気より重いガスを使用しており、清掃時に水滴がかかる場所に設置する場合。
- ・ガス管の導入室など常時通風状態で、風の影響でガス漏れ検知が困難となる天井面に設置する場合。

### ●プロテクタ(KM-35P)の推奨ご使用例

- ・LPガスまたは空気より重いガス用であって、学校の実習室等、人または台車等の動きが激しく、警報器に接触または衝突する恐れのある場所に設置する場合。

◎なお、KM-35Pの場合は防滴カバーを使用していないため、警報器の性能に支障が生じることはありません。

＜製造元＞ **富士電機株式会社**

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号(ゲートシティ大崎イーストタワー)

TEL(03)5435-7111

コールセンター 0120-24-9194